

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新市民会館整備運営事業	階数	地上5F地下1階
建設地	東大阪市御厨南二丁目551番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,690時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2017年6月15日
敷地面積	13,977 m ²	作成者	大林組 西森史裕
建築面積	7,845 m ²	確認日	2017年7月15日
延床面積	14,963 m ²	確認者	大林組 西森史裕



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 4.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	71%
③上記+②以外の	71%
④上記+	71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.4

音環境	4.6
温熱環境	4.2
光・視環境	N.A.
空気質環境	4.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

機能性	4.4
耐用性	3.8
対応性	3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.5

生物環境	4.0
まちなみ	5.0
地域性	4.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.9

建物外皮の	5.0
自然エネ	4.0
設備システ	5.0
効率的	5.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

水資源	3.8
非再生材料の	4.1
汚染物質	3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

地球温暖化	4.1
地域環境	3.8
周辺環境	3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 東大阪に新設する市民会館の計画である。高い断熱性や高効率機器の採用による省エネルギー性への配慮に加え、環境に配慮した建材の採用、地域性や歴史継承のある内外装デザイン、緑化計画、風環境等にも配慮し、機能・環境・歴史の3つの視点を融合した豊かな表情のランドマークを創出している。		・建設工事において騒音・振動・粉塵対策を行い近隣の生活環境に配慮
Q1 室内環境 ・大ホールは騒音等級N-20とし、音環境に配慮 ・大ホールは床吹き出しを採用し、温熱環境に配慮 ・ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量の少ない建材を採用し空気質環境に配慮	Q2 サービス性能 ・デザインや機能について事前検討し内装計画に配慮 ・耐用年数の長い内装材や配管材採用で耐用性向上に配慮 ・高い耐震性、災害時飲料確保、電源車接続による照明電源確保等で災害時の機能維持、建物の信頼性の向上に配慮	Q3 室外環境(敷地内) ・環境調査、生物資源復元等により生物環境に配慮 ・利用者が自然に親しめる広場、中庭、屋上庭園の計画 ・歴史と地域性のある外装デザインや周辺に配慮のあるボリューム計画により景観へ配慮
LR1 エネルギー ・高断熱性能確保により、建物の熱負荷抑制に配慮 ・高効率な設備システムの導入により、省エネルギー性へ配慮 ・BEMS導入によるモニタリングや省エネ改善計画による運用時の配慮	LR2 資源・マテリアル ・節水器具の採用や雨水利用による水資源保護への配慮 ・リサイクル材採用等による資源への配慮 ・有害物質を含まない材料使用、ノンフロン断熱材採用による環境配慮	LR3 敷地外環境 ・気象解析による配置計画の配慮や屋上緑化、壁面緑化により敷地外温熱環境に配慮 ・駐車場・駐輪場の確保等、交通負荷抑制により地球環境に配慮

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0056

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	新市民会館整備運営事業					
		建設地	東大阪市御厨南二丁目551番1					
		用途/区分	集会所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					S		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					5		
	みどり・ヒート アイランド対策					4		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.1	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	5.0	5	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				5.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.8		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				4.0	4	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				4.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				4.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		高い断熱性、高効率機器の採用等による省エネルギー性に配慮した。						